

平成25年3月29日

新宿区長 殿

法人名 特定非営利活動法人粋なまちづくり倶楽部
所在地 東京都新宿区東五軒町2-2-106
(フリガナ) リジチョウ テラダ ヒロシ
代表者氏名 理事長 寺田 弘 ㊞

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	伝統芸能ワークショップにより地域の子供と高齢者の交流を図るとともに、伝統文化を次世代に伝える事業
実施日時又は期間	平成24年7月1日～平成25年3月29日
対象者の範囲及び人数	参加者としては、神楽坂界限ならび区内在住の高齢者、小・中学生、及びその他の世代をターゲットとした。実績参加人数は94人。 情報発信者としては伝統芸能、庶民芸能の担い手10人。
事業内容	伝統芸能等に比較的慣れ親しんだことのある高齢世代と、あまりよく知らない子供達とが、参加型の伝統芸能ワークショップという場同時に集うことで、知識の伝達や共同作業などのふれ合いの機会が生まれて、地域住民間の顔の見える関係づくりが促進することを目指した。同時に、街の中での伝統文化に触れる場と機会づくりは、生活の中に文化が入り込んでくる状況を拡大し、豊かな地域生活が育まれる事に役立つ。またこのような社会が形成されることに意欲的な伝統文化の担い手の要望も満たされていくことを期待して事業を進めた。
具体的な活動状況	神楽坂界限で活動している様々な伝統芸能や、庶民芸能から5分野を選び、その担い手に、子供も大人も楽しめる本格的な芸能ワークショップを実施してもらった。 第1回 講談 第2回 江戸浄瑠璃（新内と三味線） 第3回 能楽 第4回 箏曲 第5回 落語 各回とも、解説、実演、参加と体験（ワークショップ形式）で構成し、体験ワークショップの場を通じて、参加者が和やかに伝統芸能に親しむことが出来た。また、子供と大人、高齢者の自然な交流も見られ、本活動のプログラムの将来的可能性が見えた。

事業の成果	<p>子ども、高齢者、その他世代が、まちなかでの伝統芸能体験の場に同時に集うことで、どのような交流が生まれるのか。あるいは、どのようなプログラムであれば、子どもから高齢世代までが、同じ体験を共有できて、知識の伝達や共同作業などのふれ合いのきっかけが生まれてくるのか。このことについての実証的な試みとしての本事業では、5つの伝統芸能のジャンルで、各世代の伝統芸能の受け止め方や、参加者間の中に発生する世代間の交流の様子などを見ることで、文化を仲立ちとした地域コミュニティ醸成の可能性をみて取ることが出来た。</p> <p>また、5つのジャンルともに予想以上に初体験の参加者が多かったが、その殆ど全てから、本事業への賛同と、継続を望む声が聞こえたことから、身近な街の中で伝統文化に触れることの楽しさに気付く機会や場づくりの大切さについて改めて考えることとなった。</p> <p>また、本活動には、神楽坂界隈の著名な伝統芸能の担い手の方々が、積極的に関わって頂いたが、彼らからも、本活動がもたらす効果への期待が大きいことを聞くことが出来た。</p>
-------	---

2 助成対象事業費内訳（実績）

※ 内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

※ 1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			148,865 円
	参加費・資料代等	500 円×有料参加者総数 84 人（組）		42,000 円
	その他の収入			0 円
	協働推進基金助成金	助成金申請額 430,000 円		
	計	620,865 円		
支出 （助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	140,770 円	会場費 25000 円×5 回 その他会議費用 15770 円（内訳別紙参照）	
	宣伝費	75,000 円	チラシ・パンフレット 1 回あたり 12000 円×5 回 Web 掲載 1 回あたり 3000 円×5 回（内訳別紙参照）	
	リース費	0 円		
	消耗品費	26,325 円	ワークショップ費用 1 回分 3150 円×4 回 その他 13725 円（内訳別紙参照）	
	謝礼	210,000 円	講師 7 人×30000 円（内訳別紙参照）	
	人件費	113,000 円	アルバイト 4 人延べ時間数 113 時間×1000 円 （内訳別紙参照）	
	材料費	7,500 円	（内訳別紙参照）	
	交通費	0 円		
	その他諸経費	0 円		
助成対象事業費（小計）		572,595 円		
余剰金		48,270 円		
助成対象外事業費		0 円		
事業総額		620,865 円		

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
<p>事業を計画した当初に決めた目標について、どこまで達成できたか。</p>	<p>伝統芸能体験を通じて地域の子どもと高齢者の交流を図るという目標については、成功したケースとうまく行かなかったケースの両面が出ており、達成率としては6割程度と考える。但し、子どもにも分かる体験型の伝統芸能ワークショップのプログラムは、伝統芸能初体験者には、世代に関係なく、楽しく学ぶ有効なものであることが分かった。また、入門編とはいえ、出演者には各界で有名で人気のある演者を招いたことが成功のポイントであり、かれらの熱意や、伝統芸能普及への想いが参加者に十分に伝わったようである。まちの中の身近な伝統芸能体験の場づくりの重要性についても改めて考えさせられた。以上から、概ね当初の目標は達成できたと考える。</p>
<p>地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。</p>	<p>伝統芸能に関心をもつ世代が、予想したとおり、子どもから大人、高齢者にいたるまで幅広く存在しているが再確認できた。体験型ワークショップという形式は、伝統芸能の入門としては、極めて有効な手法であることも確認でき、参加者も、神楽坂界限に身近な伝統芸能の世界がちりばめられていることに興味をもったようだった。また、参加者、伝統芸能の担い手双方から、本活動継続への期待や強い要望を聞くことができ、本事業を継続していけば、伝統芸能のある、文化のまちづくりへの足がかりが見込めるように思った。</p>
<p>費用対効果は適正であったか。</p>	<p>人間国宝鶴賀師匠一門、宮城道雄記念館、観世九臈会、人気の高い講談師や落語家など、講師の力量とワークショップの内容は本格的であり、5000円という極めて廉価な参加費で受講できた参加者からは充実した贅沢なワークショップと捉えられたようである。参加費に関するアンケートでも1000～2000円程度の参加費でもよいとする意見も多かった。参加人数は、当初は親子連れを中心とした50人程度をイメージしていたが、体験型ワークショップという意味では、20人程度が限界であることから、結果的には、参加人数も妥当な線に落ち着いたと考える。費用対効果についての判断は難しいが、出演者のボランティア的なギャラを前提とするならば、参加者の反応からは充分適正な費用対効果があったと考える。</p>

<p>新たに気づいた課題・問題点は何か。また、どのような対策が考えられるか。</p>	<p>今回の事業では、親子で500円という料金設定を考えたが、僅かとはいえ、子どもの有料参加への呼びかけは学校等を通じても難しく苦勞することとなった。この改善のため、チラシも毎回募集表現を変えるなど工夫したが、正解がどれなのかはまだ確証がない。また、子どもと高齢者という2つの極端な世代を同時に呼び込むというターゲットの作り方も、理念は別として、現実には難しいものとなった。結果的には参加は全ての世代からのものとなったことから、今後は、特に世代を絞り込むことをせず、幅広い層に呼びかけていくなかで、子どもや高齢者にウェイトを置いていくという考え方の方が適切なように思われる。但し、伝統芸能体験の場に子どもが参加していることは、体験の場の雰囲気や和ませ、参加者間の自然な交流を産み出していく上で重要なことであると再確認できた。プログラムの内容については、子どもを意識しつつも「本物」の入門内容としておくことが、他の大人にとっても好奇心をかき立てられ、分かりやすく、魅力的なものとなるようである。</p>
<p>理解者や支援者が広がったか。</p>	<p>今回全ての高座の参加者は初めての体験者が大部分であったが、参加後のアンケートからは伝統芸能の楽しさに気付いたこと、これからも同様な体験を続けていきたいことなどが見てとれた。伝統芸能の普及という観点からすれば、本活動は、明らかに、理解者や支援者を広げていくことのできるものであると考える。また、子どもと同席した入門講座であっても、体験型の場合は、大人も子どもと同じように楽しめることが分かったことから、今後同様の活動を進める時にも地域からの理解や支援は得やすいものとする。</p>
<p>事務局の執行体制は十分だったか。</p>	<p>事業の大部分は、各ジャンルからの講師を招いての体験型ワークショップであり、当初は適任講師の選定や依頼について若干の不安もあったが、神楽坂まちづくりの会や当NPO関係者の日頃からの各界へのつながりが役立ち、依頼、会場整理、資料づくりなどについても特に問題なくスムーズに進行できた。以上から事業の執行体制については特に問題はなかったと考える。但し、前述のように、子どもと高齢者という2つの異なる世代をひとつにまとめようとする仕組みや広報については、日頃から学校との連携を強化しておくことが大切であると再確認した。</p>

<p>今回の事業を次年度以降も継続していく場合、助成金だけに依存せず、今後も安定的に事業を継続するための財源確保等に向けた取り組みはなされていたか。</p>	<p>参加費については子どもは無料としておくことが妥当のようである。大人以上は今回の500円に縛られることなく1000円以上でも集客は可能のようである。しばらくの間は、講師謝金の確保のため、ある程度までの助成金を得ていくことが必要と思われるが、暫く活動を継続していくことで参加者側の理解が広がっていけば、自立した事業化についても可能性は見えそうである。</p>
<p>その他</p>	<p>今回の事業では、伝統芸能未体験者の数の多さに少し驚いたが、逆に彼らは、きっかけさえあれば、伝統芸能を身近に楽しく体験していける気軽な場に参加していくように思われる。その際、子どもや、お年寄りが楽しくその場に参加していることが、体験の場を和やかなものにしていく効果があることもよく分かった。伝統芸能というと、難しく、堅苦しいものであるように誤解してしまいがちであるが、本活動のような、本かくて破棄でありながらもハードルの低い体験講座の果たす役割はとても大きそうである。</p>

4 活動の成果

第1回 講談

開催日時 平成24年8月18日14時～15時半

開催場所 神楽坂善國寺毘沙門天書院

講師 講談師 神田織音

協力 神楽坂まちづくりの会

参加者数 24人

■講談の歴史や、道具、話し方や演出方法等についての解説の後、参加者を高座に招いて、講談体験をするなど楽しい会となった。



第2回 江戸浄瑠璃（新内と三味線）

開催日時 平成24年9月9日14時～15時半

開催場所 神楽坂善國寺毘沙門天書院

講師 鶴賀伊勢次郎、小林幸子、特別ゲスト：鶴賀若狭掾師匠

協力 鶴賀若狭掾一門、神楽坂まちづくりの会

参加者数 20人

■江戸浄瑠璃のひとつである新内の話と節回しを体験した後、三味線のひき方についてのワークショップも行った。



第3回 能楽

開催日時 平成24年10月7日14時～15時半

開催場所 神楽坂善國寺毘沙門天書院

講師 坂 真太郎

協力 観世九阜会、神楽坂まちづくりの会

参加者数 15人

■能の歴史、能の道具や装束、面の話などの解説の後、謡の練習体験も行った。



第4回 箏曲

開催日時 平成24年11月10日14時～15時半

開催場所 宮城道雄記念館

講師 宮城会 伊藤奈津代（箏）、近藤智子（箏）、菅井貴子（箏）、石倉光山（尺八）

協力 宮城会、神楽坂まちづくりの会

参加者数 13人

■箏の演奏で幕開けの後、箏曲についての解説と、実際に箏に触れての合奏ワークショップを体験した。



第5回 落語

開催日時 平成24年12月2日14時～15時半

開催場所 神楽坂善國寺毘沙門天書院

講師 落語家 柳家喬之進

協力 神楽坂まちづくりの会

参加者数 22人

■子どもの参加も多かったことから、和やかな落語入門講座となった。落語で使う道具の話など子供たちはとても楽しかったようである。



	合計 (未回答 含む)	～9才	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
第1回 講談	24	1	0	2	2	7	4	6	2	0
第2回 浄瑠璃	20	0	0	0	6	2	5	5	2	0
第3回 能	15	0	0	0	1	5	2	3	3	0
第4回 箏	13	0	1	0	2	3	2	3	2	0
第5回 落語	22	3	5	1	5	4	3	0	1	0
合計	94	4	6	3	16	21	16	17	10	0

	初めての体験	前から知っていた
第1回 講談	15	9
第2回 浄瑠璃	15	5
第3回 能	8	7
第4回 箏	12	1
第5回 落語	13	9

	神楽坂界限	箏笥地区内	区内	区外
第1回 講談	7	1	4	12
第2回 浄瑠璃	13	1	0	7
第3回 能	3	0	4	8
第4回 箏	5	0	2	6
第5回 落語	6	10	4	2

	継続を望む	あまり意味を感じない	その他
第1回 講談	24	0	0
第2回 浄瑠璃	19	0	未回答1
第3回 能	15	0	0
第4回 箏	12	0	未回答1
第5回 落語	21	0	未回答1

	よく分かった	少し分かった	まだよく分からない
第1回 講談	16	7	0
第2回 浄瑠璃	7	11	2
第3回 能	10	5	0
第4回 箏	10	3	0
第5回 落語	19	3	0

参加者の感想

第1回 講談

- ・初めて高座に上がられて感激しました。講談も大変面白く拝聴しました。
- ・参加できるのがよいですね。
- ・「参加型」ということを講談師の方も意識なさっていて楽しかったです。
- ・毎回違う内容楽しみです。
- ・講談をもっと知りたくなりました。1回だけでなく2～3回なり続けるとよいと思います。最後に質問コーナーとかあると良いのではないのでしょうか。参加型はよいですね。神田さんの笑顔が素敵でした。
- ・大変楽しかった。
- ・このような伝統芸能を地域に紹介する活動は素晴らしいと思います。神楽坂ならではのイベントだと思います。有難うございました。
- ・はじめて講談を聞きました。とても楽しかったです。また他の回も楽しみにしております。
- ・とても面白く参加させていただきました。ありがとうございました。
- ・お子さんに参加を是非呼びかけて下さい。

第2回 浄瑠璃

- ・もっといろいろ知りたいと思いました。ぜひまた来たいです。
- ・新内といえば流しのイメージしか無かったので本来の可タイトルをお勉強できてとても良かった。
- ・三味線にふれられて楽しかった。
- ・楽しかった！日本の文化は素晴らしいですね。
- ・新内を身近に感じる事が出来ました。三味線の音が深い味わいのある音で良かったです。
- ・楽しかったです。
- ・三味線など体験できてよかった。また近くで見られて良かった。
- ・企画実行している NPO の幹事の皆さん、ありがとうございます。一流のプロのお話、実演は素晴らしい！！
- ・はじめて三味線にさわる事が出来よい経験でした。
- ・今後も続けて欲しい。
- ・楽しくすごしました。
- ・初めての新内楽しくお聞かせ頂きました。
- ・体験の部分が多すぎる。やってない人はひまでした。新内そのものの説明がもっと欲しかったです。

第3回 能楽

- ・お話が大変面白かったです。ぜひ生で見たい。
- ・能ってすごく奥が深いですね！すごい。
- ・初めてでしたが大変素晴らしかったです。また参加したいと思います。
- ・大変面白く楽しかったです。

第4回 お琴

- ・とても楽しかった。勉強になりました。

- ・初めてお琴にさわりました。楽しかった！
- ・箏のことがよく分かり勉強になりました。
- ・体験はもう少し時間が長ければもっと嬉しかったです。楽しく過ごさせていただきました。
- ・琴を初めて弾けて楽しかったです。本当に楽しかった♪
- ・とても楽しかったです。来て良かったです。
- ・どうもありがとうございました。
- ・初めて琴にふれました。良い音が出て本当に楽しかったです。ありがとうございました！
- ・箏の話が由来を含め面白かった。実際に触れてみるとなかなか手指が動かないでした。
- ・さくらにどうにかトライできて楽しかったです。初めてでしたが琴についてよくわかりよい体験ができました。
- ・楽しい時間でした。演奏も素晴らしかったです。
- ・手取り指導してもらい楽しかった。

第5回 落語

- ・おもしろかった。
- ・いっぱいわらえて楽しかった
- ・身近に落語を知りたい
- ・落語がどのようなものか分かって良かった
- ・楽しみにしていましたので満足です
- ・前の方で子供たちも楽しんでいてかわいかった
- ・とても楽しかったです。たまにラジオなどで落語を耳にしてみたいと思いました。子供たちも楽しんでいたので同じような企画を是非またお願いします。
- ・初めてでしたが大笑いさせて頂きました。次回も楽しみにしております。
- ・ちびっこもよろこんでいてよかった。面白かったです。
- ・なかなか知る機会がなかった落語にふれることが出来、とても楽しかったです。ありがとうございました。
- ・短かった。でも子供たちにはちょうどよいですね。
- ・まちなか伝統芸能、本当に楽しかったです。またやってくださいね。その時は教えて下さいね。
- ・楽しくきかせていただきました。
- ・とても楽しく聞けました。ありがとうございました。子供たちもよろこんでいたようです。